



仁淀川町

2022.5 第67号

議会だより



三月定例会

新議長決まる・議会の組織	2P
各議員の所属委員会や政党などを紹介	3P
議案の審議結果（2月臨時会）	4P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A（2月臨時会）	5P
一般質問（7人が登壇）	6P～12P
コラム 仁淀川町は花盛り	12P
議案の審議結果（3月定例会）	13P～15P
議案の審議 そこが聞きたいQ&A（3月定例会）	16P～19P
議長一口メモ！	19P



議会中継視聴 仁淀川町のホームページからもアクセスできます。
<http://www.town.niyodogawa.lg.jp/>

スマートフォンで視聴

左記の二次元コードを読み取って、スマートフォン用サイトへアクセスできます。なお、スマートフォンで映像をご覧になる場合は、Wi-Fiを安定して利用できる場所での閲覧を推奨します。

高知県仁淀川町議会

TEL 0889(35)1081 / FAX(35)0575 / 発行人：議長 大野 弘 / 編集：議会だより特別委員会 / 印刷：(株)高知新聞総合印刷

10人の議員決まる（現職7人、元職1人、新人2人）

任期満了に伴う議会議員選挙は1月18日告示され11人が立候補、1月23日に投票が行われ、現職7人、元職1人、新人2人が当選。任期は令和4年2月1日から4年間。

2月8日に臨時会が開かれ、選挙を行い大野弘議員が議長に選任。（投票結果＝大野弘 6票、藤崎源彦 4票）

続いて行われた副議長選挙の投票結果は、「藤崎源彦 5票、野村安夫 5票」同数によりくじ引きを行い、藤崎源彦議員が副議長に選任。

その後、各常任委員などを選出し、新しい組織が決まった。（順不同・敬称略）

1月23日執行
当日有権者数 4,504人
投票者数 3,184人
有効 3,153票
無効 31票
投票率 70.69%



副議長
藤崎 源彦
(3期目・無所属)



議長
大野 弘
(2期目・無所属)

議長就任あいさつ

このたび、議員各位の推挙により議長を拝命することとなり、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

二元代表制の一翼を担う議会として、町発展のため、コロナ感染防止対策をはじめ、諸課題に取り組んでまいります。町民の声に耳を傾けながら、信頼される、また、町民の方々がより身近に感じられる議会を目指し、誠心誠意取り組んでまいりたいと思っております。

今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

議会運営委員会									
委員長	竹本 文直	委員長	藤堂賢太郎	委員長	岡田 良成	委員長	藤原 大	委員長	藤原 大
副委員長		副委員長		副委員長		副委員長		副委員長	
委員		委員		委員		委員		委員	
委員		片岡 智準		委員		片岡 智準		委員	
委員		藤堂賢太郎		委員		若藤 敏久		委員	
委員		竹本 文直		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		岡田 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		大野 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		竹本 文直		委員		文直		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		竹本 文直		委員	
委員		大野 弘		委員		大野 良成		委員	
委員		野村 安夫		委員		野村 安夫		委員	
委員		岡田 良成		委員		若藤 敏久		委員	
委員		藤原 大		委員		大野 直孝		委員	
委員		大野 良成		委員		文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		竹本 文直		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦		委員		大野 良成		委員	
委員		大野 弘		委員		野村 安夫		委員	
委員		野村 安夫		委員		若藤 敏久		委員	
委員		岡田 良成		委員		大野 直孝		委員	
委員		藤原 大		委員		文直		委員	
委員		大野 良成		委員		竹本 文直		委員	
委員		竹本 文直		委員		藤崎 源彦		委員	
委員		藤崎 源彦							

各議員の所属委員会や政党などを紹介

 <p>おおの 大野 直孝 (2期目)</p>	<p>○産業建設 ○国道439・494号 議会だより</p> <p>政党：無所属</p>	 <p>おかだ 岡田 良成 (5期目)</p>	<p>○産業建設 議会運営 高吾北広域町村 事務組合議會議員</p> <p>政党：無所属</p>
 <p>かたおか 片岡 智準 (3期目)</p>	<p>○総務教育民生 議会運営</p> <p>政党：無所属</p>	 <p>とうどうけんたろう 藤堂賢太郎 (1期目)</p>	<p>○議会運営 ○総務教育民生 議会だより</p> <p>政党：日本共産党</p>
 <p>たけもと 竹本 文直 (3期目)</p>	<p>○議会運営 総務教育民生 国道439・494号 議会だより 監査委員</p> <p>政党：無所属</p>	 <p>ふじはら 藤原 大 (1期目)</p>	<p>○議会だより 議会運営 産業建設</p> <p>政党：無所属</p>
 <p>わかふじ 若藤 敏久 (6期目)</p>	<p>総務教育民生 高吾北広域町村 事務組合議會議員</p> <p>政党：無所属</p>	 <p>のむら 野村 安夫 (5期目)</p>	<p>○国道439・494号 議会運営 産業建設 高吾北広域町村 事務組合議會議員</p> <p>政党：無所属</p>

○は委員長　○は副委員長

委員会　議会運営……「議会運営委員会」
 総務教育民生……「総務教育民生常任委員会」
 産業建設……「産業建設常任委員会」
 議会だより……「議会だより特別委員会」
 国道439・494号……「国道439号及び494号改良促進特別委員会」

議案の審議結果

令和4年第1回仁淀川町議会2月臨時会（初議会）議決事項

議案番号	件名	議決結果	賛否
報告第1号	専決処分の報告について (盜難被害に係る和解について) ※町内で発生したグレーチング盗難被害弁償として、17万4,240円の弁済を受けるもの	原案報告	報告のみ
報告第2号	専決処分の報告について (令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第6号）) ※主な補正是新型コロナウイルス感染症対策の子育て世帯臨時特別給付金2,000万円、補正後の合計は84億7,172万4,000円	原案承認	全員賛成
報告第3号	専決処分の報告について (令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第7号）) ※子育て世帯臨時特別給付金事業に関する手数料3,000円及び給付金1,880万円の補正で、子ども1人あたり10万円の一括給付を年内に完了、補正後の合計は84億9,052万7,000円	原案承認	全員賛成
議案第1号	仁淀川町観光センター等の指定管理者の指定について ・指定管理者 田舎生活株式会社 ・指定の期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日	原案可決	全員賛成
議案第2号	令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第8号）について ※主な補正是、子育て世帯臨時特別給付金220万円、非課税世帯臨時特別給付金1億4,400万円などで、補正後の合計は87億5,084万円	原案可決	全員賛成
議案第3号	令和2年度 道整備推進交付金事業 林道大峠北浦線開設工事請負契約の一部変更について ※変更前の金額 66,440,000円 ※変更後の金額 56,610,840円 議会に付すべき予定価格5,000万円以上の契約で、500万円以上の変更契約のため、議決を求めるもの	原案可決	全員賛成
同意第1号	監査委員の選任について 令和4年2月8日～令和8年1月31日  たけもと 竹本 ふみなお 文直 (竹ノ谷)	同意	全員賛成

議案の審議

そこが聞きたい

—第1回（2月）臨時会—

Q
&
A

■仁淀川町観光センター等の指定管理者の指定について

問 竹本議員
新しい指定管理者「田舎生活株」は初めて聞く会社だ。説明を願う。

答 大石総務課長
「田舎生活株」は掛水自動車が令和3年12月15日に会社を設立。観光宿泊業、移住など多岐にわたる分野の内容を記した定款となつている。

問 若藤議員
■令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第8号）について
答 井上町民課長
子育て世帯臨時特別給付金、非課税世帯に対する臨時特別給付金関係業務に従事する職員2人の時間外。

問 若藤議員
■令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第8号）について
答 井上町民課長
当25万円の内訳を問う。

問 若藤議員
役場職員は1時間2千500円も時間外がつくのか。

答 大石総務課長
役場職員の時間外単価は条例、規則に基づく計算式により算出、職員一人一人単価が違う。2千500円程度が職員時間外の平均単価。時間外勤務を減らすよう周知徹底を図る。

問 大野（直）議員
予算書に「債務負担行為の変更は、第2表 債務負

時間外単価2千500円、これの100時間分で25万円を計上。

担当行為補正による」とあるが内容を問う。

答 井上町民課長
令和7年度供用開始予定の新たな管理型産業廃棄物

最終処分場（佐川町に建設予定）整備に向けて、町に割り当てられた整備費用負担金を令和4年度～6年度まで債務負担行為で計上したもの。



仁淀川町観光センター（秋葉の宿）

一般質問

始まる。大崎診療所と合わせて、1億円程度見込まれる赤字補填に努力が必要だ。

可能な限り支出を削減し医療関係、教育関係、防災関係に予算を充てるべきではないか。



選挙について

④ 検討する

始まる。大崎診療所と合わせて、1億円程度見込まれる赤字補填に努力が必要だ。
可能な限り支出を削減し医療関係、教育関係、防災関係に予算を充てるべきではないか。

岩丸橋と富岡橋は道路メテナシス事業こよりの年

岩丸橋と富岡橋は道路メンテナンス事業により5年周期で点検を実施。岩丸橋は補修工事を計画しており、新橋調査などの計画はない。

仁淀、大崎診療所の経費削減に努め、収入支出の管理を徹底し、赤字解消対策を講じる。

岩丸橋と富岡橋は道路メテナシス事業こよりの年

答
町長

る橋は老朽化している。

対策を講じる。
険箇所の点検などで、防災

大地震が発生した場合、補修工事だけでは橋は崩落する。新橋建設を望む。命令の大しさを見直すべきだ。

答
町長



ポスター掲示板

一般質問



答 情報交換会を検討する

問 片岡智準議員

指定管理の議案を審議し議決しているが、運営状況など把握する機会がない。指定管理者、行政、議会の3者が一堂に会する懇談会を開催し、指定管理者制度がより効果的な運用となる方向性を探ってはどうか。

答 古味町長

町内には15の指定管理施設があり、宿泊、バス、デ

イサービス事業など、業務は多岐にわたり、設置目的や、業務内容が異なり、一

業種間では効果的だと考える。今後そのような会合も考えていきたい。

異業種間の事業では効果的な運用となる方向性は難しいが、飲食・宿泊など同

堂に会して、懇談会の実施は困難。しかし、効果的な運用の必要性は認識しており、今後は定期的な情報交換会の実施などを検討するとともに、各常任委員会で、

名野川バス停
表示板設置

問 片岡

指定管理施設を視察する際は、職員も同行、制度の充実を図っていきたい。

答 町長

指定管理者制度は業種がすべて違い、共通課題が少ない。

各施設にはそれぞれの課題がある。個別より、全体的な意見を聞けば、新たな視点も見いだせるのではないか。過去には課題が把握されずに推移し、気づくのが遅くなつた事例もある。

関係者との定期的な検討会を能動的に運用することによって、より良い指定管理制度になると考えるが。

現在、国道33号と県道中津公園線の合流地点にバス待合所の建設を進め、バス停表示板の設置を検討している。ただ、待合所の見通しが悪いため、事業者には利用者の確認徹底をお願いし、また利用者には時間に余裕をもつた利用をお願いしたい。



各バス待合所予定施設

一般質問

国は、2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにし、カーボンニュートラルを目指すと宣言し、全国598の自治体がゼロカーボン

本町で使用するエネル
ギーは、100%、再生可能工
ネルギー、グリーンエネル
ギーにすると表明し、ゼロ
カーボンシティを宣言して
はどうか。

小水力発電の可能性について過去2カ所ほど調査した。

再生エネルギー施設の運営を行えば、新たな収益、雇用が生まれるが。

談、移住者用住宅の入居手続きや、維持管理、移住や交流に関する業務を行つており重要な施設と捉えてい

家主の理解を得るために



山茶小屋

問 ゼロカーボンシティ宣言を



④計画に盛り込んでいく

シティ宣言を表明した。本町の各計画書は、宣言前に作成され、脱炭素社会に向けた施策の事業は盛り込まれていない。

本町が有するさまざまな可能性を研究し、ゼロカーボンシティを目指すための施策を各計画に盛り込んでいかなければならぬと考える。

年度から探っていく計画を検討している。
建設費は立地条件によるが、100kWの施設で約2億円が必要。

アフターコロナを見据え、今後も交流人口、関係人口の増大を図り、山茶小屋と連携し取り組んでいく。

、
人口の増加を因り、山梨県と連携し取り組んでい

答
町長

移住を検討する絶好の施設であるため、今後も町の移住担当職員と、連絡を密にし、情報を共有し、積極的に施設を活用していく。

空き家は現在、池川地区で1件掲載されている。

令和4年度は、1人増員を計画、今後十分な情報交換をして、施設の稼働率アップ、移住交流を盛り上げていく。

用住宅を建設中、令和3年度で3棟、耐震と、水回りの改修を行つてゐる。

の改修を行つてゐる。

は、生半可な努力では理解を得られない。

一般質問



国道33号改良について

答 強く要望していく

問 藤原 大議員

国道33号いの→越知間についで、改良案や代替路を問う調査が来ていた。このアンケートに仁淀川町のことはまつたく示されていなかつた。方向性は示されているか。

答 片岡産業建設課長

いの町波川以西の国道33号地域高規格道路新規事業化に向けて、沿線の本町を含む5町村の全事業所を対

象に、今後の道路計画に反映するためのアンケート調査を実施。

越知町野老山から本町橋間は「事

前通行規制区間解消の観点で検討を進める」とされており、防災課題解消に向けた調査を推進すると聞いています。

防災・減災、国土強靭化について国土交通省に強く要望していく。

学校統合について

答 意見を集約する

問 藤原

本町は人口減が進み、児童・生徒数も毎年減少している。学校統合について、教育長の考え方聞く。

令和9年度の児童・生徒数の推移

答 黒川教育長

小学校は、59・2%減の117人。中学校は、64・1%減の60人と予想。

現状の中学校のクラブ活動の状況や、小学校の複式学級の状況などの諸課題を含め、今後の児童・生徒数について、令和4年度のPTA役員会で説明し、保護者の意見を集約していく。また地域からの意見も考慮し、慎重に検討していく。



国道の通行止めは回避できるか（越知道路）

仁淀川町の児童・生徒数の推移

学校名	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和3年（減少率）	令和6年（見込み）	令和9年（見込み）
小学校	池川小学校	63	58	65	81	83	
	大崎小学校	77	58	↑池川小学校に統合			
	名野川小学校	33	20	↓別府小学校に統合			
	別府小学校	59	46	47	46	41	
	長者小学校	55	66	34	26	23	
	小学校 計	287	248	146	153	147 (48.8%)	122
中学校	池川中学校	49	27	51	33	31	
	吾川中学校	55	48	↑池川中学校に統合			
	仁淀中学校	63	51	59	38	34	
	中学校 計	167	126	110	71	65 (61.1%)	87
小・中 計		454	374	256	224	212 (53.3%)	60

一般質問

住民税非課税世帯に対し
て一世帯当たり10万円を支
給する「臨時特別給付金」
の申請を受け付け中、福祉

答 古味町長

原油価格の影響を受けて
いる生活者や事業者への支
援のため、生活困窮者（住
民税非課税）世帯の、灯油
購入費に5千円の補助（町
負担は半額）で経済負担の
軽減を。

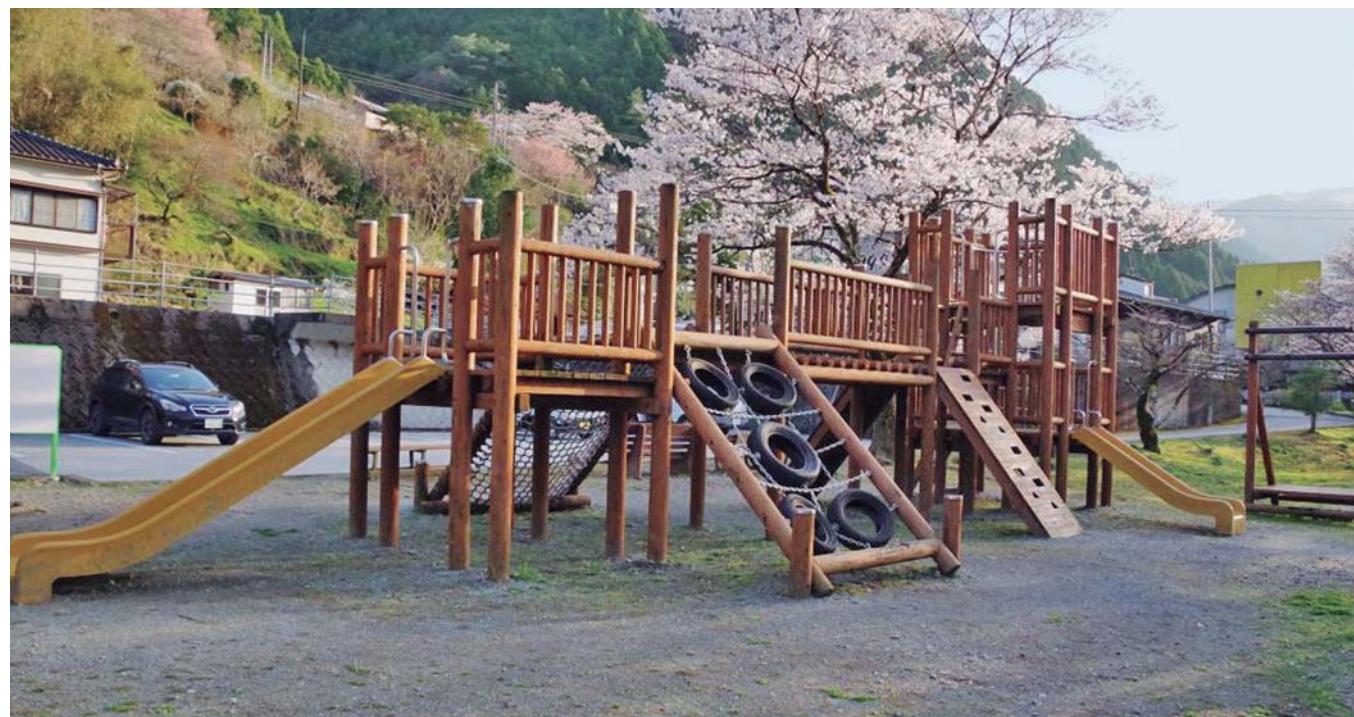
現時点では整備

答 町長

「住民の声を聞き、子育てしやすく、高齢者が安心して暮らせる町」は町長の公約でもある。本庁舎がある中心地の大崎には、2～3個でも遊具のついた児童公園がほしい。子どもたち、保護者の希望であり、若者定住にも必要ではないか。



旧吾川中グラウンド（バッケネット付近）



仁淀川町ふれあい公園（北浦）

灯油価格高騰に
助成を！



答 「臨時特別給付金」で

問 藤堂
生活困窮者の世帯数と町
負担額を聞く。

答 町長

1千250世帯、312万5千円。

大崎地区に
児童公園開設を
❸整備計画を検討する

問 藤堂
「住民の声を聞

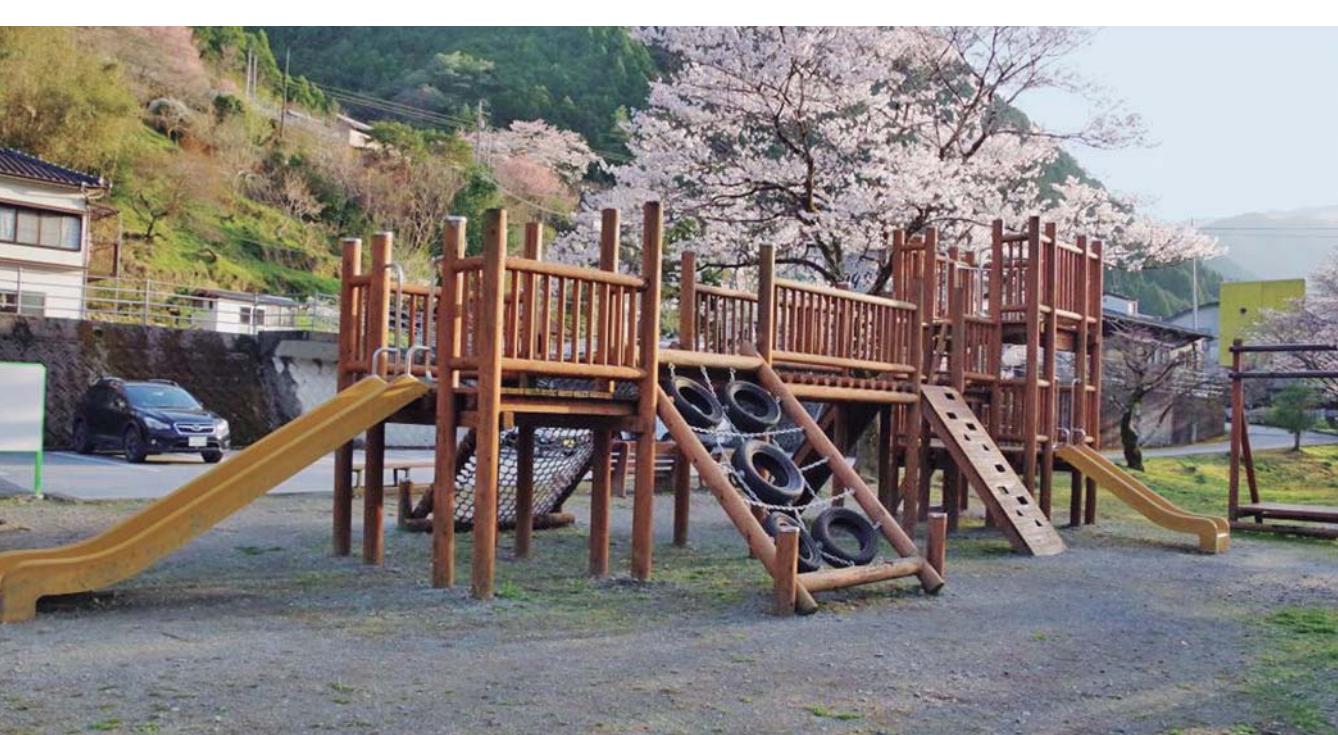
そこは道路建設が予定されているが、時間が長期にわたるから、一時的にはグラウンドの一部分の利用も検討する。

灯油などの上乗せは考えて
いない。

できる土地がない。将来的には、旧吾川中学校校舎跡地に整備計画を検討中。

問 藤堂
旧吾川中学校、グラウンド
のバッケネット付近が利用
できなか。

答 町長



一般質問



池川北浦橋について

(答)今は計画していない

問
若藤敏久議員
老朽化の激しい北浦橋の架け替え計画はないのか。

心に架かる橋にしては狭すぎる。早急な対策が必要ではないか。

答
古味町長

池川の中心部に架かる交通量の多い橋で時間帯により渋滞するが、補修対象にはなっていない。

問
若藤

池川は仁淀ブルーやアウトラリア効果により観光客が急速に増えており、町の中

国道439号・494号連絡道着工計画で事業化されると新橋の可能性はあるが、現時点では架け替えの計画はない。

答
町長

国道439号・494号連絡道着工計画で事業化されると新橋の可能性はあるが、現時点では架け替えの計画はない。

答
町長

報奨金、買い上げ金の多少に関係なく雑所得として課税の対象になる。

問
若藤

「報奨金が20万円以上になると税金がかかる」というから理解しにくくなる。

「必要経費を引いた金額は税金の対象になる」と徹底すればよい。

答
町長

報奨金、買い上げ金の多少に関係なく雑所得として課税の対象になる。

いる。

報奨金が税金の対象になるのはいかがなものか。

問
若藤

有害鳥獣報奨金について

(答)課税の対象になる

排水口付近の汚れがひどいが検査は十分か。衛生面の心配はないか。

答
町長

森地区最終処理場について

(答)基準値はクリアしている

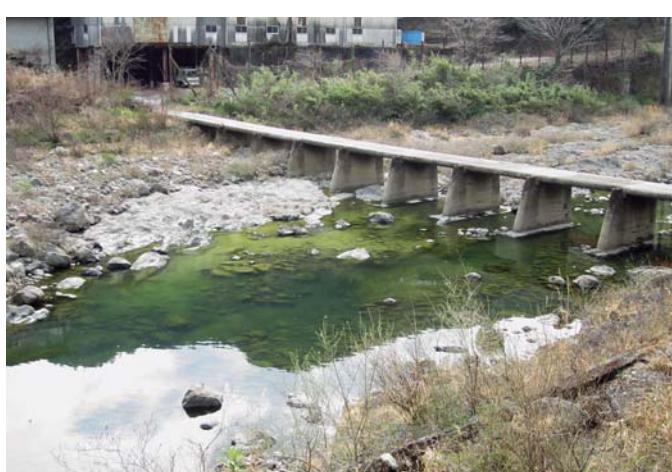
獣友会を通して報奨金にも税金がかかるることを周知していく。

答
町長

問題がないのなら大量のヘドロはたまらない。衛生面や汚れには十二分に注意をしてほしい。

答
町長

すべての検査で基準値はクリアしているが、大雨もなく洗い流されていない状況であり、今以上に注意をし検査を実施していく。



排水口付近



クリーンセンター（森）

一般質問

令和3年9月定例会で
も報告した「住んでいてよ
かつたと思える町づくり」
「住民目線での行政運営」
「健全な財政運営」この三
つを大きな目標として予算

令和3年8月多くの期待
を受け当選され初の新年度
予算となる。公約にど
うのように反映されたか。

答 古味町長

令和4年5月10日発行

仁淀川町議会だより

第67号 (12)

編成を行った。

これらを確実に実行して
いくために、給食費の実質
無償化、高校生・大学生な
どの就学支援給付金などの
子育て支援。

農福連携による障害者の
就労の場確保による社会参
画の実現、空き家住宅を改
修し活用した移住定住の促
進、将来を見据えた予算編
成ができたと考えている。

また、新型コロナウイル
スの感染状況に左右される
が、4月以降町内19地域で
地域懇談会を開催し、地域
の実情や要望の把握、町民
が行政に何を期待するの
か、意見交換を行い、今後
の予算編成につなげ、住民
目線での行政運営を行う。

健全財政については、事
業の選択と集中、優先順位
付けを行い、有利な起債の
借入れや繰上げ償還を計
的に実施することにより、
健全な財政運営の維持を図
る。

公約について

答 今後も予算に
反映していく



3月半ばを過ぎるころ、本町では
寺村・久喜・上久喜・引地橋地区など
の花桃が開花、また時をさほど違
わずに染井吉野やひょうたん桜など
の桜の開花宣言がされ、にわかに町
内に活気が戻り、花盛り・花盛りで
す。

コ
ラ
ム

“仁淀川町は花盛り”

3月半ばを過ぎるころ、本町では
寺村・久喜・上久喜・引地橋地区など
の花桃が開花、また時をさほど違
わずに染井吉野やひょうたん桜など
の桜の開花宣言がされ、にわかに町
内に活気が戻り、花盛り・花盛りで
す。

もはやのんびりはできません。新
型コロナウイルス対策を進めつつ、
駐車場対策、花見客提供品の検討な
どの準備に追われ、結構、気せわし
い日々を送ることとなる。

ただ、各地の共通点は、どこの地
域においても、行政が直接関与せず
地域の住民が中心となり準備を始
め、顧客対応に努め、それぞれの地
域で、本町を盛り上げ全国に発信し
ているところに意義を感じる。形の
上ではどこでも見る「花見で賑わう」
光景です。

しかし、本町は過疎高齢化が進
み、毎年100人を超す人口減少、その
歯止めの一石になればとの思いの方
もおられるはず。東京上野公園の花
見とは一緒にできないものがある。
行政は住民の希望を汲み、花見客
の快適な見物提供を望む。

(片岡智準 記)



花の里公園の花桃 (寺村)

議案の審議結果

令和4年第2回仁淀川町議会3月定例会議決事項

議案番号	件名	議決結果	賛否
報告第4号	専決処分の報告について（令和3年度地方創生道整備推進交付金事業 町道寺村大板線（その1）改良工事） ※変更前の契約金額 68,475,000円 ※変更後の契約金額 63,811,000円 山留ブロック積み及び落石防止工密着型ネットの施工面積の減に伴い、466万4,000円減の変更契約	原案報告	報告のみ
報告第5号	専決処分の報告について（令和3年度 地方創生道整備推進交付金事業 町道寺村大板線（その2）改良工事） ※変更前の契約金額 63,800,000円 ※変更後の契約金額 67,639,000円 山留ブロック積みの施工面積の増により、383万9,000円増の変更契約	原案報告	報告のみ
議案第4号	行政手続きにおける押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例 ※行政手続きの簡素化により様式変更を行うため	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第5号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 ※育児休業を取得しやすい雇用環境整備及び妊娠・出産の申し出をした労働者に対する個別の周知・意向確認の措置を義務付けたもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第6号	仁淀川町委員会委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ※指定病院等における不在者投票の外部立会人の報酬を定めるため改正	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第7号	仁淀川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ※令和3年8月の人事院勧告により、町議会議員の期末手当の支給割合を引き下げるため改正	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第8号	仁淀川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ※令和3年8月の人事院勧告により、一般職の職員の期末手当の支給割合を引き下げるため改正	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第9号	仁淀川町スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 ※児童生徒の状況により、森山線をスクールバス路線に追加	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第10号	仁淀川町介護保険条例の一部を改正する条例 ※保険料率の適用年度を令和5年度まで延長するため改正	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第11号	仁淀川町道路の構造の技術的基準及び道路に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例 ※自転車通行帯及び自動車道の設置基準を見直すもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第12号	仁淀川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 ※消防団員の待遇改善を図るため、年報酬及び費用弁償としての出動手当の単価を見直すもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員

令和4年第2回仁淀川町議会3月定例会議決事項

議案番号	件 名	議決結果	賛否
議案第13号	令和3年度仁淀川町一般会計補正予算（第9号）について ※歳入歳出の補正額は925万6,000円の減額補正で、補正後の金額は、87億4,158万4,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第14号	令和3年度仁淀川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について ※歳入歳出の補正額は8,673万7,000円の補正で、補正後の金額は8億2,521万4,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第15号	令和3年度仁淀川町国民健康保険特別会計直診大崎診療所勘定補正予算（第3号）について ※歳入歳出予算額に変更はなく、合計は7億2,463万9,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第16号	令和3年度仁淀川町介護保険特別会計補正予算（第3号）について ※歳入歳出予算額に変更はなく、合計は13億2,000万2,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第17号	令和3年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について ※歳入歳出の補正額は35万2,000円の補正で、補正後の金額は1億2,833万6,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第18号	令和3年度仁淀川町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）について ※歳入歳出の補正額は、2,315万9,000円の減額補正で、補正後の金額は1億5,440万8,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第19号	令和3年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号） ※公営企業会計移行のための地方公営企業法適用支援業務の委託料794万4,000円の減額補正で、補正後の金額は3,962万5,000円	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第20号	令和4年度仁淀川町一般会計予算について ※歳入歳出予算の総額を69億125万1,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第21号	令和4年度仁淀川町国民健康保険特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を8億6,772万9,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第22号	令和4年度仁淀川町国民健康保険直診勘定特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を4億9,168万1,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第23号	令和4年度仁淀川町介護保険特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を13億1,402万円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第24号	令和4年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を1億3,385万5,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第25号	令和4年度仁淀川町簡易水道事業特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を2億5,045万5,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員
議案第26号	令和4年度仁淀川町農業集落排水事業特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を4,174万9,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席：藤崎議員

令和4年第2回仁淀川町議会3月定例会議決事項

議案番号	件名	議決結果	賛否
議案第27号	令和4年度仁淀川町会計事務集中管理特別会計予算について ※歳入歳出予算の総額を1億2,716万3,000円とするもの	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
議案第28号	高知県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び高知県市町村総合事務組合規約の変更について ※津野山広域事務組合及び幡多中央環境施設組合の脱退による変更	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
議案第29号	高知県市町村総合事務組合から津野山広域事務組合が脱退することに伴う財産処分について ※津野山広域事務組合の脱退に伴う財産処分	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
議案第30号	高知県市町村総合事務組合から幡多中央環境施設組合が脱退することに伴う財産処分について ※幡多中央環境施設組合の脱退に伴う財産処分	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
議案第31号	財産の取得について 1 契約の目的 令和3年度大崎診療所備品（歯科診察台及び顕微鏡等一式） 購入事業 2 隨意契約 3 契約金額 40,511,405円 4 契約の相手方 有限会社 土佐レーニングセンター 代表者住所 高知県高知市伊勢崎町12番地14 伊勢崎ビル3階 氏 名 代表取締役 杉本 隆昭	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
発議第6号	「国道439号改良促進特別委員会」を「国道439号及び494号改良促進特別委員会」に改める決議 ※国道439号の改良促進特別委員会に494号を追加し、国・県に道路改良を強く要望していく	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
発議第7号	消費税のインボイス制度の実施延期を求める意見書	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員
発議第8号	ロシアのウクライナ侵略に抗議し、軍事攻撃の即時中止を強く求める決議	原案可決	全員賛成 欠席:藤崎議員

※読後、議会だよりに対するご意見、ご感想をお寄せください

(仁淀川町議会事務局) ☎0889-35-1081

〒781-1592 吾川郡仁淀川町大崎200番地

※メールアドレス gikai@town.niyodogawa.lg.jp

※議会を傍聴しませんか

(日程は、防災無線などでお知らせいたします)

議案の審議

そこが聞きたい

—第2回（3月）定例会—

Q
&
A

■令和4年度仁淀川町一般会計予算について

問 竹本議員
林業費が前年度と比べて大幅に増えているが、内訳を問う。

答 片岡産業建設課長

林業費は令和3年度と比較して9千316万9千円増額。道整備推進交付金事業が4年度から新たに事業化されたことが増えた要因であるが、前年度と比べて予算が増えた。

問 竹本議員
業務委託料で観光発信を行うと聞いたが、具体的な説明を。

答 古味企画課長

委託料約175万円で町ガップ更新増刷を1万5千部を計画している。

問 竹本議員
観光発信は大事だが、大量に来る県外客で観光公

害、地元住民は非常に迷惑している。

答 古味町長
「誘客しても受け入れ態勢が整っていない」との質問だが、これから計画・申請を行い、国の補助決定が出れば3～4年かけて補助事業で行いたい。

答 片岡産業建設課長

空き家活用住宅改修工事の改修が、田舎暮らしを夢見てやってきた移住者から不評と聞いているが。

答 古味企画課長
令和4年度、3棟の空き家改修を計画中。国・県の改修補助には一定のルールがあり、制約がある。

現在の入居者から話を聞き、今後の改修に役立てたい。

問 竹本議員
農業確立総合支援事業の「農福連携事業」には賛成している。この事業でフードプランの隣へハウスを建設、商品はすべて隣のフードプランへ持つて

いくのか。
廃水処理がずっと問題になっている。水耕栽培の廃水が入り、さらに水質が悪化するのではないか。

答 片岡産業建設課長

農福連携で水耕栽培したベビーリーフやリーフレタスはフードプランへ出荷、余剰があればスーパーなどへ販売していく。水耕栽培ではあまり廃水は出ないと聞いている。

答 竹本副町長

も新しい施設などの検討をしている。
水耕栽培自体は水を大量に排出しない。栽培に従事する従業員のし尿処理があるので、浄化槽は河川に影響が出ない方法を探っていく。



フードプラン工場

問 若藤議員
農福連携事業の関係だが、フードプランの廃水は汚れたままで、すでに河川に影響が出ている。廃水問題は積極的に対応すべきだ。

答 竹本副町長
フードプランからの廃水問題は、仁淀川ブランドに

農福連携事業は全面的に業者を信用して大丈夫か。



レタスの水耕栽培（土を使わず、水と液体肥料で栽培）

問 竹本議員 この廃水問題は以前からずっと続いている。数年前、新しい工場を建設する前から廃水問題があり、住民からの苦情があり、「新工場建設と同時に浄化槽を新設するのでそれまで待つてほしい」と答弁していたが、さらに水質は悪

答 片岡産業建設課長 間伐材の搬入促進に2千700万円を予算化している。

問 岡田議員 農林水産業費、間伐材等流通促進事業補助金4千万円の支払い先と業務内容を問う。

答 片岡産業建設課長 搬入の補助金、すべてが3社にわたっているわけではない。各事業体、個人の持ち込みもある。持ち込んだ立米数に応じて支払った銀行振り込みの証明をつけて申請している。この搬入補助金750円分は各事業体へ

問 岡田議員 民間企業なので分から

も影響しかねないので、農福連携の施設と浄化槽を共同処理してはどうかとの話もある。さらに浄化作用が高くなるような方法を考えていく。

答 古味町長 業者は実績もあり障害者雇用も行っている会社なので大丈夫と判断した。

問 野村議員 フードプランの廃水問題、早急に対策すべきだ。

答 古味町長 フードプランの廃水問題は仁淀川の水質保全のため、新たな浄化槽などを早く設置していきたい。

問 竹本議員 フードプランと水耕栽培業者は「こうちSDGs推進企業」の登録を目指してはどうか。

答 古味町長 事業者に対して話もしていきたい。

問 竹本議員 フードプランと水耕栽培業者は「こうちSDGs推進企業」の登録を目指してはどうか。

答 古味町長 事業者に対して話もしていきたい。

フードプランに隣接して建設し、水耕栽培の野菜を包装する手間や輸送コスト削減が期待できる。

答 古味町長

廃水問題は野菜の残りかずを圧縮し肥料にする処理をしたことが濁った原因。農福連携の関係で大きな浄化槽か、もしくはろ過施設を設置するようにしてい

る。施設から出る水はそれほど汚れた水ではなく循環型と聞いている。

問 岡田議員 話を聞くと林産組合、池川木材工業、ヴエルデの3社に計2千700万円の搬出補助を出していると理解してよいか。

問 岡田議員 地元の地権者に出す方が望ましくないか。林産組合は実際に利益が出ているのか。

答 片岡産業建設課長 搬出された材が750円の補助をもらわずに久万高原町へ流れるのは単価が高いからでは、との話だが、林産組合の木材単価は、久万高原町の木材市場単価を逐一確認、単価的には同じしている。

3事業者、仁淀川林産協同組合、池川木材工業、ヴエルデから令和3年度申請が入っている。選木促進の部分で1千300万円、林産組合となつている。同組合は平成23年3月に設立、町内の加工者、製材業者、各事業体などが出资して設立。主に町産材の収集・販売を行っている。

答 岡田議員 本町は林業従事者が多い。原木を集約するために林産組合にという話だが、実際はかなりの材木が県外へ流出している。

答 岡田議員 林産組合に1立方あたり1千250円の補助があるにもかかわらず、補助をもらわずに愛媛県に流出している。なぜ県外に木材が流出しているのか。

化問題は解決していない。



建設中の林業振興センター（大崎）

問 岡田議員
愛媛県に木材を持つていて理由を慎重に中身を吟味すべき。林産組合に500円と

ないという話だが、普通なら補助が出る地元へ木材を当然持っていくはず。今、町内の補助金は一企業が独り立ちできるくらいの補助をしている。いつまでも補助はすべきではない。

費用対効果、町民の幸せにつながる補助金を出すべきだ。

平成23年に設立した林産組合は当時、1億5千万円（8千万円は貸付金、7

千万円は補助金）の話があつた。

それ以降の貸付金返済状況はどうなっているのか。か。

答 片岡産業建設課長

林産組合への貸付金は、平成29年度に460万円、30年度から今に至るまで毎年400万円ずつ償還がある。

今年度も400万円償還予定、令和3年度末で計2千60万円の償還となる。まだ

約5千940万円あり、このままだと何年かかるか分からぬので、林産組合に償還計画の提出、早期償還の体制づくりをとつてもらうよう協議している。

【当時の経緯】若藤議員
（株）ソニアの経営が悪化し佐川町、越知町も手を引くということで、本町がとるしかない、当時、私は議長をしており積極的にかかわったので、よく記憶している。本町だけでも年間最

いう選木の補助がいつており一千300万円ある。

この補助金だけでももうかつているのかどうか、林産組合の損益計算書の提出を求める。

答 片岡産業建設課長

岡田議員の林産組合の損益計算書提出要求については、一民間企業であり即答できない。今後、林産組合と協議していく。

答 古味町長

令和4年度から新規事業は終期を設定すること、既存の補助金についても必要性、費用対効果、額の縮小を検討するよう指示している。

今後、業務全般を見直して行政のスリム化を実現していく。

問 片岡議員

総務費に妊娠支援給付金事業110万円を計上しているが、対象は何人か。民生費の町社会福祉協議会補助金が6千36万3千円と前年度と比べて約700万円減少している理由は。

佐川町、越知町も手を引くということで、本町がとるしかない、当時、私は議長をしており積極的にかかわったので、よく記憶している。本町だけでも年間最

低で5千万円の出資金、持ち出しが必要だった。これを何とかできないか、といふことで林産組合に引き取つてもらい、8千万円の貸付金と7千万円の補助金で解決したようなことを覚えている。

当時、本町が（株）ソニアを存続させて、林産組合を立ち上げていなければ、現在まで5億5千万円ほど町費がつぎ込まれていたことになる。

答 谷脇保健福祉課長
妊婦支援給付金は一人あたり5万円、22人を想定、

問 藤堂議員
対前年度より利用率が

例規集の更新業務の委託料によるもの。令和5年4月から公務員の定年延長が行われるので、その関係の例規、給与条例、勤務条例などの整備に伴う支援業務によるもの。

答 井上教育次長

ファミリーサポートセンター事業委託料は、令和3年度、人件費2人分を組んでいたが、4年度は1人分減額。また3年度はファミリーサポート2階に転落防止柵の設置工事費100万円が計上されていたため。

答 大石総務課長

総務費の業務委託料が前年度の倍になっているが。

新型コロナ対策で妊婦を支援する。
町社会福祉協議会補助金の主な減額理由は、若手職員採用に伴う人件費の減額。

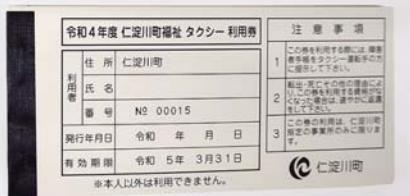
下がったため、タクシー・チケット予算が減額されている。

町内の高齢化は進んでいる。

住民から「タクシー・チケットの枚数を増やしてほしい」「タクシーじゃないと病院や役場に行けない」との声を聞く。

答 谷脇保健福祉課長

福祉タクシー券は2年度24枚だったが、3年度から40枚に増やしている。



令和4年度福祉タクシー券・ガソリン券、地域タクシー券

■ 令和4年度仁淀川町簡易水道事業特別会計予算について

人家が点在した地域の飲料水供給施設が渴水などでの対応は。

議長一口メモ！

問 若藤議員
令和3年度から簡易水道を見直す計画案は、4年度はどこまで反映されたか。

答 井上町民課長
令和3年度から管路の耐震化、長寿命化を国の事業で坂本から着手。

4年度は坂本配水区、寺村配水区、名野川配水区の管路改修を計画。

答 井上町民課長
県の補助金を活用し、飲料水供給施設整備事業で対応。また、小規模な集落などでは家庭用給水施設整備事業で対応する。

■財産の取得について

令和3年度大崎診療所備品（歯科診療台及び顎微鏡等一式）購入事業

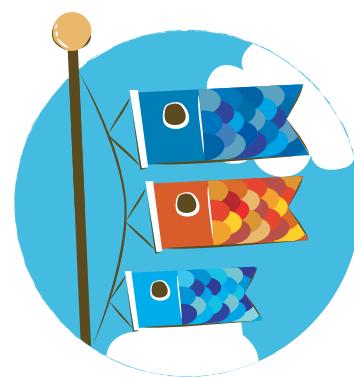
問 竹本議員
公募型プロポーザルでこの業者を決めたようだが、1社のみの応募だったのか。

答 谷脇保健福祉課長
プロポーザルで公募したが1社のみだった。

新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は大きく変化した。今や、人との交流も制限されるありさま、いつになればマスクなしでの生活ができるのだろうか。議会においてもマスク着用、1日も早い終息を願う。

さて、今議会は令和4年度当初予算を審議する大事な議会でもあり、新型コロナウイルス感染予防対策や新町長の公約である福祉対策事業、子育て支援対策などが盛り込まれ、議会としても慎重な審議を行った。その中で、補助金の在り方について集中的に議論がされた。限られた予算の中、また、住民の税金を活用する以上、無駄なく有効に利用することこそが、行政の責務だと思う。このことをしつかり議会としても見守っていきたい。

議長 大野 弘





残したい
文化財

用居大師堂（用居）

安政7（1860）年 建立 長州大工 浅次 工匠 友助

匠の技「木組み」が素晴らしい。

天井画が描かれているが経年劣化により、損傷が進み、修復が望まれる。

（文献 山口県周防大島「東和町誌」より引用）

議
会
日
記



3月	4日	議員懇談会
8日	第一回臨時会（初議会）	
1日	議会運営委員会	
2日	広域議会	
2月	2日	仁淀川町成人式
	12日	議会だより特別委員会
令和4年1月		
7～8日	定例会	
8日		議会だより特別委員会
21日		議会だより特別委員会
22日		吾川郡町村議会議長会

編集後記

「新人議員は議会だより特別委員会に入つたら勉強になるよ」と勧められ、編集委員長を拝命しました藤原です。

つたない編集ですが、一読していただけると幸いです。読みやすく分かりやすい議会広報を目指します。

皆さまからいただいた声を議会だよりに生かしていくたいので、気軽にお声かけください。

正副議長選で緊張した2月の初議会、議案の審議で盛り上がった3月定例会の臨場感を紙面から少しでも感じ取っていただければ幸いです。

（藤原 大記）

議長	委員長	藤原 大
大野	副委員長	藤崎 源彦
竹本	委員	藤堂賢太郎
弘	直孝	